

The287th Programming Deliberation Committee

第287回番組審議会 議事録

開催日 2025年4月22日（火）

出席者：角田陽一郎委員、長崎亘宏委員、安藤美冬委員、望月理恵委員

議題（審議番組）：

『Barakan Beat』

放送日時：2025年3月23日（日）18:00～20:00

DJ：ピーター・バラカン

会社からの説明

1996年4月、interfmの開局と同時に放送開始。

放送日時、番組タイトル、内容変更を経て、2014年10月5日から今の放送日時、毎週日曜日の18時から20時の生放送を開始しました。

日曜の夜、ブロードキャスターのピーター・バラカンが深く愛する古今東西の音楽を、徹底的にご紹介するプログラム。キャッチュ・フレーズは、『出会い系！』

注目の新人、新譜、再発売の楽曲や、近日開催のおすすめライブ、イベント情報など、音楽ファン必聴の様々な出会いがある2時間になります。時にはゲストを迎え、トーク&スタジオ・ライブセッションもお楽しみいただいています。

ピーター・バラカン選定のLP片面を丸ごと聴く、大好評「名盤片面」のコーナーも、毎月最終週に実施中。ピーター・バラカンおススメの書籍・ライブ、映画チケットなどプレゼントも多く、リクエストも随時受付けており、リスナーとのコミュニケーションも活発です。他では見られないピーター・バラカンのチャーミングな一面も垣間見えるなど、根強いリスナーがついており、interfm人気ナンバーワンの番組となっています。

委員からの意見・感想

審議委員 A

開局から色んな経緯があったと思うが、interfm がある限り続けて欲しい。

台本が無いというものの、2時間の番組の中で計算された起承転結がしっかりとある。

敢えて言うのであれば、キャッチコピーの『出会い系！』。

ピーター・バラカンの出会いって何だろうと逆に感じ、予定不調和みたいなものが出てきても良いのではと思った。番組公式 X の数も多く、ファンダムもしっかりとついていて局の看板番組だと思うので、スポンサーがいらないのは寂しいと感じた。

審議委員 B

ファンもついていて、信頼と実績もあり、日本が誇るラジオスターだなと思った。

台本・BGM が無いと聞いて驚き、喋り手としては不安になるところもあると思うが、無いらからこその色が際立ち世界観が出来上がり、更に曲が立つと感じた。時折 DJ のチャーミングな一面も出てそこも良かった。

何より、ピーター・バラカンがいることが大事なんだと感じた。

審議委員 C

素晴らしい番組でコメントが今までで一番難しい。

テレビのゴールデンタイムの時間で仕事したことがあるが、ラジオ、interfm だからこそ、その時に出てこない面白さを感じた。年齢は感じるが、ずっと続けてることに意義がある。

『Barakan Beat』が終わったら interfm が潰れちゃうのでは無いかと思うので、このまま続けて欲しい。

審議委員 D

最高に耳に心地良い 2 時間だった。最初は長いかなと思ったが、あっという間に感じ、おかわりもして更に聴いた。

ゲストのチェロ奏者のジョヴァンニ・ソッリマさんのインタビュー、そしてチェロのスタジオ演奏がここまで身近に感じ、音楽で心揺さぶられるとはこのことだなと思うほど感動した。周囲から評判を聞いていた話題の海外ドラマの話しも出てきたりと、生放送ならではのリアルタイム感もあった。

一会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上